

2024 年 2 月 24 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

【運命を創造する原理】として知られていることのなかに、「意識が自己の運命を創り、その集合平均が人類の運命を創造している」という話があります。

人間が一日の間に、条件反射的に思う想い、能動的に思う想い、脳裡を自動的によぎり去る想い、それらの総数を調べた事がある人の話によりますと、人は総じて、一万から六万回もの想いを発しながら生きています。

またその内容を平均すると、約 10%から 20%がポジティブな想いで、残りの 80%から 90%はネガティブな部類の思考だといわれています。

神聖復活を志向し、想念・言動行為に意識的に神聖を顕わして生きている場合は、そのパーセンテージはもう少し違ってきますが、それでも現段階でポジティブな想いが過半数を占めている人の割合は、人類全体の中で見れば限りなく少ないといえます。

私達は日々瞬々刻々、「世界人類が平和でありますように」と祈っておりますが、冒頭の話に照らして観ますと、世界が平和になるということは、人類の過半数が一日の大半をポジティブな意識で生きている世界であることは論を待ちません。

そして、そうした世の中にこの世を次元上昇させてゆくためには、真実の平和を志向している私達こそが、一日の大半を光明の意識・思考で生きている姿を示す必要があります。それも、裏表・嘘偽りなく、です。

世界を本当に光明化するためには、私達自身がそれに適う生き方をしている必要があります。そうでなければ、どんなに神聖復活を望み世界の平和を願っても、その希望は“絵に描いた餅”に過ぎず、世界を明るくする力にはなり得ないからです。

私達は本来、生命の本質が神聖であるからこそ、神そのものの想念・言動行為を顕わすことが出来ます。神聖の立ち位置を標準装備にするために、抑圧してきた女性性の実体を育てて、すべての神聖を当然視する意識を揺るぎないものにしてまいりたいと思います。

不安・恐怖・被害者意識・弱者認定…、そうしたネガティブなマインドセットや自己評価（想念の初期設定）を卒業して、神聖が当り前の世界へ至るファーストステップは、人生の一時期、数週間から数ヶ月の間を、自らの肉体波動と精神波動に神聖の響きを行き渡らせ続ける期間として、光明の言葉を声に出し続け、想いに発し続ける練習をすることです。

そうすることで、いつの間にか自分自身の神聖を当然視する精神状態に変わってゆき、どんな人の神聖も認められる意識へと変貌してきます。土曜日の夜は参加者全員の力を合わせて、全員があらゆる事象に対して、反射的に神聖を認められるようになるためのプログラムを行ないます。

そのときにはいつものように、五感に映し見る「良い・悪い」「好き・嫌い」「強い・弱い」「賢い・賢くない」といった二元対立の見方を超えて、すべてを心内に抱(いだ)く無限なる慈愛の心境で、地球の大自然と生きとし生けるものと人類すべてに、いのちの源からの光を放ってまいります。

2024 年 2 月 24 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。本日のプログラムは次のような流れで行ないます。はじめに約 9 分の世界平和の祈りを行ないます。次に、何を見ても聞いても何に触れても、瞬間的に俯瞰の視座から見たもの・聞いたこと・触れたものに神聖を認める練習を挟んで、そのあとはいつものように、地球世界への感謝の印を行ない、神聖復活の印を七回組んで、最後に三分半の世界平和の祈りで終わりにいたします。また、時間が余るようでしたら、世界平和の祈りの前に、追加のお祈りとして世界の災害地と紛争地に宇宙神の光を送る祈りをいたしますので、よろしくお願いします。それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行なってまいります。

1. 《世界平和の祈り》

2-1. 《意識の初期設定を書き換える時間》

ここからは、何を見ても聞いても何に触れても、反射的に神聖を認め、見出す練習をいたします。説明が終わりましたら、はじめに、画面に表示された文章を私が読み上げてまいりますので、心の中で、または声に出して、一緒にお読みください。

地球世界に平和が訪れるとき

それは人類全体が自らの神聖に目覚めたとき

「地球人にはたくさんの“あるべきモデル”が必要だ」

そう思われた祖神(おやがみ)様の意向を受けて

私達は進化した惑星からこの星に降り立った

あの場あの時から幾星霜

複合霊としての輪廻転生を重ねつつ

数多(あまた)の霊系統を統合しながら

私達は魂の集大成としての今生を生きている

その今生において

何十年の歳月をかけて

私達は自らの神聖を再確認するに至った

我即神也・人即神也・人類即神也・人類皆即神也

人類が真理に目覚めさえすれば

地上天国は現実のものとなる

その第一歩は

私達自身の意識が自らに神聖以外のものを認めぬこと

私達を犯すものは何一つないことを自覚すること

運命は表面意識の如何に関わらず

自らが創造している

その事実を 100%認めること

生命の本質から見れば

この世には善人・悪人の区別はない

誰もが生命の大元に還元するプロセスとして

旅の途上で経験したかった体験を積み重ね

魂の見聞を広げているだけだ

私達が今 この瞬間に手放すべきことは

善悪・好き嫌い・優劣といった差別感情

それらをいさぎよく手放し

消えてゆく姿として

守護の神霊に明け渡し続け

世界平和の祈りを祈り続けてゆけば

誰もが自他に差を認めぬ悟りの心境に到る

そうなってゆくプロセスで人は

何を見ても聞いても 何に触れても

表われの奥に煌めく神聖を認めるようになってゆく

私達を辱(はずかし)める人はいない

私達を攻撃する人もいない

自らをいじめ 貶(おとし)め 辱(はずかし)め

赦さないでいる場合に

私達は自と他を分断して見て

外の世界に敵を認めていただけだった

「あっ そうか

すべての原因は自分の中にあったんだ

人に何かを感じたとき

その想いは内なる原因を映し出し

自らを波動調整するチャンスだったんだ」

神聖が甦った人々の世界では
誰が悪い 彼が駄目だと
責任を他に帰す人はいない
その事実を人類に先駆けて示すのだ

私達がそれをしなければ
そうして見せる人が他にいないからだ

「人はみな神の霊の分身」
どんな場面 いつ何時にあっても
私達は瞬間的にその事実を認めている

時にはエゴが抵抗して
神聖を否定しようとするかもしれない
しかしそのときこそが 長年培(つちか)ってきた
『消えてゆく姿』を実践するとき

守護霊は愛の神々であるから
一度に消えてゆく姿を現わし
消し浄めようとはしない

少しずつ 少しずつ
その被守護体が受け止め切れる範囲内で
『手放し』の練習をさせてくださっている

地球世界に平和が訪れるとき
それは私達が自らの神聖に目覚め切ったとき

「地球人類の“あるべきモデル”として生きるのだ」
そう固く心に誓い 自らを磨き高め上げ続けている人々は
自らが望んだとおりの人生を
今年以降 現わし生きてゆくのだ

ここで、短い光の言霊を五分間、間を開けずに繰り返し唱えます。今から行なうことは、脳裡を自動的によぎる手放すべき想いの数々を、無理に手放そうと念力で頑張るのではなく、光の言霊しかそこにな
い状態をつくることにより、手放している意識を先取りして経験しながら、その状態に慣れてゆく練習
であります。ご自宅や外出先にて、ご自身で行なわれる場合は、光明の言葉であれば、どのような言葉
でも構いませんので、好きな言葉で、時と場合によっては言葉を変えながら行なってみてください。

今から唱える言葉は、「すべては完璧、欠けたるものなし、大成就」です。それでは始めます。

「すべては完璧、欠けたるものなし、大成就」

※ 5 分間、継続して行なう

＜地球世界感謝行＞の前のお話

次は、印による地球世界感謝です。神聖を思い出した私達が、自然や生きとし生けるものと一体化することで、大調和した世界を甦らせるために、心からの感謝を捧げてまいります。

＜神聖復活の印＞の前のお話

次は、神聖復活の印です。本日は、私達が組む印の光が、時空を超えた太陽の光のように、全方向から地上を照らしていることをイメージしながらお組みください。宣言はありませんので、「はい」と申し上げたらご一緒にお組みください。

＜世界平和の祈り＞の前のお話し

最後に、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。このお祈りの間に、内面に意識を向けて、始まる前の意識や体の状態と、今の意識や体の状態の変化を観察してみてください。体のことは細胞さん達に、精神面のことはご自分の本心さん、守護霊・守護神様に尋ねてみてください。そうしますと、細胞さん達や本心さん、守護霊・守護神様方が必要なことを、閃きや直観として伝えてくださいます。それでは始めます。